

宿泊約款

第1条 適用範囲

- 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

第2条 宿泊契約の申込み

- 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - 宿泊者名
 - 宿泊日及び到着予定時刻
 - 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

第3条 宿泊契約の成立等

- 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

第4条 申込金の支払いを要しないこととする特約

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第4条の2 施設における感染防止対策への協力の求め

1. 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法(昭和23年法律第138号)第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

第5条 宿泊契約締結の拒否

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、過去に当ホテル(当ホテルグループ)に対して代金支払いの遅延などの事象が認められたとき。
- (5) 宿泊しようとする者が、泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれがあるとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。

イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

- ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
- ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの

- (7) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (8) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。
- (9) 宿泊しようとする者が、親権者の書面による許可のない未成年者のみであるとき。
- (10) 宿泊する権利を他に譲渡する目的で宿泊の申込みをしたと当ホテルが判断したとき。
- (11) 宿泊に関し暴力的要求が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。）第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
- (12) 宿泊しようとする者が、当ホテル若しくは当ホテル従業員に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき、又は過去に当ホテルグループのホテルで同様の行為を行ったと認められるとき。
- (13) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (14) その他、各種法令又は当ホテルが所在する自治体が定める条例等の規定する宿泊を拒むことができる場合に該当するとき。

第5条の2 宿泊契約締結の拒否の説明

- 1. 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求められます。

第6条 宿泊客の契約解除権

- 1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限りません。

3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後9時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

第7条 当ホテルの契約解除権

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
 - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
 - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
 - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき、又は過去に当ホテルグループのホテルで同様の行為を行ったと判明したとき。（宿泊客が障害者差別解消法 第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
 - (6) 宿泊客が、当ホテル若しくは当ホテル従業員に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - (7) 宿泊しようとする者が、泥酔者等で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (8) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (9) その他、各種法令又は当ホテルが所在する自治体が定める条例等で規定する宿泊を拒むことができる場合に該当するとき。
 - (10) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

第7条の2 宿泊契約解除の説明

1. 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

第 8 条 宿泊の登録

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1)宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - (2)日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号（確認のためパスポートの写しをとらせていただきます。）
 - (3)その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第 1 2 条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

第 9 条 客室の使用時間

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、館内案内をご覧ください。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には追加料金（料金はフロントにてご確認ください）を申し受けます。ただし満室の場合等、規定時間外の客室利用を応じかねる場合もございます。

第 10 条 利用規則の遵守

1. 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第 11 条 営業時間

1. 当ホテルの施設等の詳しい営業時間はパンフレット、各所の掲示、客室内のインフォメーション等でご案内いたします。
2. 前項の営業時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

第 12 条 料金の支払い

1. 宿泊者が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、日本の通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第 13 条 当ホテルの責任

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第 14 条 契約した客室の提供ができないときの取扱い

1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料をもって損害賠償額とさせていただきます。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第 15 条 寄託物等の取扱い

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 10 万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害

が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、10万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

第 16 条 宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに残置されていた場合は、当該物の占有が当ホテルに移転されたものとみなし、当ホテルは、原則として所有者からの連絡を待ちその指示を求めるものとしますが、1ヶ月以内に指示がされない場合には処分します。ただし飲食物・たばこ・雑誌及び衛生環境を損なう懸念のある物品、その他廃棄物に相当する物品(明らかに壊れている物)については即日処分します。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。
4. 前3項の規定にかかわらず、貴重品については、所有者からの指示がされない場合、遺失物として、発見日を含め最長7日保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
5. 当ホテルは、残置された手荷物又は携帯品について、内容物の性質に従い適切に処理を行うため、その中身を当ホテルの判断で点検し、必要に応じ、所有者への返還又は前項に従った処理を行うことができるものとし、宿泊客はこれに対して何らの異議を述べないものとします。

第 17 条 駐車場の責任

1. 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに応じます。

第 18 条 宿泊客の責任

1. 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

2. 当ホテルは、指定喫煙場所(喫煙客室含む)を除きすべて禁煙のため、客室内又は施設内の指定喫煙場所以外の場所で宿泊者が喫煙をされた場合、当該宿泊客は当ホテルに対し、客室クリーニング代及び客室販売停止にかかる損害を賠償していただきます。

第 19 条 免責事項

1. 当ホテル内におけるコンピューター（電子機器等）通信の利用にあたっては、宿泊者自身の責任にて行うこととし、コンピューター通信の利用中にシステム障害により利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。
2. コンピューター通信の利用に際し、当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテル及び第三者に損害が見込まれる場合、又は生じた損害についてはその損害相当額を申し受けます。

第 20 条 支配する言語

1. 本約款は日本語及び英語、中国語、韓国語にて作成されますが、約款の各言語の間に不一致又は相違があるときは、日本語がすべての点において支配するものとします。

第 21 条 宿泊約款の改定

1. この宿泊約款は、必要に応じて随時改定できるものとします。この約款が改定された場合、当ホテルは、改定後の約款の内容及び効力発生日を当ホテルのウェブサイト若しくは当ホテル内に提示するものとします。

別表第1 宿泊料金等の内訳（第2条第1項及び第12条第1項関係）

宿泊客が支払うべき総額

宿泊料金	・基本宿泊料（室料(又は室料+朝食等の飲食料) ※サービス料
追加料金	・追加飲食及びその他の利用料金
税金	・宿泊税、消費税等法令により規定される諸税

備考 基本宿泊料はフロントに提示する（又は宿泊契約成立時の）料金によります。

※サービス料は、西鉄グランドホテル・ソラリア西鉄ホテル福岡が対象です。

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

契約解除の通知を受けた日		不	泊	当	日	前	日	2~9	日	前	10~20	日	前
一般	14室まで	100%	80%	20%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15室-99室まで	100%	80%	20%	10%	-	-	-	-	-	-	-	-
団体	100室以上	100%	100%	80%	20%	10%	-	-	-	-	-	-	-

(注)

1. %は、基本宿泊料(消費税等含む)に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。
4. その他、提携する他事業者若しくは当ホテルにおいて販売する特別プラン又は特定団体等において前述の規定とは異なる取消料を定める場合があります。

Accommodation Agreement

Article 1 Scope of Application

1. The accommodation contract concluded between the Hotel and the guest, as well as the contracts related thereto, shall be subject to the provisions in this agreement. The matters not stipulated in this agreement shall be subject to laws/ordinances, etc. (refers to laws/ordinances or matters based on laws/ordinances; hereinafter the same) or regularly established customs.
2. When the Hotel complies with a special agreement within the extent not contrary to laws/ordinances, etc., and customs, the said special agreement shall prevail notwithstanding the provisions in the preceding paragraph.

Article 2 Application for an Accommodation Contract

1. A person wishing to make an application for an accommodation contract with the Hotel shall provide the following matters to the Hotel.
 - (1) Name of guest(s)
 - (2) Date of accommodation and expected time of arrival
 - (3) Accommodation fees (This shall be according to the basic accommodation fees in Appended Table 1 in principle)
 - (4) Other matters deemed necessary by the Hotel
2. In the event the guest makes an application to continue staying beyond the date of accommodation in item (2) in the preceding paragraph during the said guest's stay, the Hotel shall treat this as though there has been an application for a new accommodation contract at the time the said application was made.

Article 3 Establishment of the Accommodation Contract

1. The accommodation contract shall be deemed to have been established when the Hotel accepts the application in the preceding article. However, this shall not apply when there is proof that the Hotel did not accept the said application.
2. When the accommodation contract is concluded pursuant to the provisions in the preceding paragraph, the deposit stipulated by the Hotel shall be paid by the date designated by the Hotel. This deposit shall be limited to the basic accommodation fees of the accommodation period (this shall be the accommodation fees of three days when the accommodation period exceeds three days).

3. The deposit shall first be allocated to the accommodation fees that must eventually be paid by the guest. When a situation applicable to the provisions in Article 6 or Article 18 arises, the deposit shall be allocated to the penalty fee and then next to reparations in that order. If there is a balance, this shall be returned upon payment of the fees pursuant to Article 12.
4. In the event the deposit in Paragraph 2 is not paid by the date designated by the Hotel pursuant to the provisions in the said paragraph, the accommodation contract shall lose its effect. However, this shall be limited to when the Hotel has notified the guest to that effect when designating the deposit payment due date.

Article 4 Special Agreement Making the Deposit Unnecessary

1. Notwithstanding the provisions in Paragraph 2 in the preceding article, the Hotel may comply with a special agreement that makes the payment of the deposit in the said paragraph after the establishment of the contract unnecessary.
2. In the event the Hotel does not request payment of the deposit in Paragraph 2 in the preceding article and in the event the Hotel does not designate a payment due date for the said deposit when accepting an application for the accommodation contract, this shall be treated as complying to the special agreement in the preceding paragraph.

Article 4-2 Request for Cooperation in Infection Prevention Measures

1. The Hotel can request the person seeking accommodation to cooperate pursuant to the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

Article 5 Refusal to Conclude an Accommodation Contract

The Hotel may not comply with the conclusion of the accommodation contract in the following cases. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those set forth in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the application for accommodation does not comply with this agreement
- (2) When there are no free guest rooms due to full occupancy
- (3) When it is deemed that the person seeking accommodation may commit an act in violation of provisions in laws/ordinances, public order, or good manners in relation to accommodation
- (4) When it is deemed that there have been cases in the past where the person seeking accommodation delayed payment to the Hotel (the Hotel Group)

- (5) When the person seeking accommodation may commit an act that inconveniences another guest because they are heavily drunk, etc.
- (6) When it is deemed that the person seeking accommodation corresponds to one of the following from (a) to (c)
 - (a) An organized crime group (hereinafter “Organized Crime Group”) stipulated by Article 2 (2) of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991), or a gangster (hereinafter “Gangster), an associate member of an Organized Crime Group, or a person related to an Organized Crime Group stipulated in Article 2 (6) of the said act, or another antisocial force
 - (b) A corporation or other group for which business activities are controlled by an Organized Crime Group or Gangster
 - (c) A corporation that has people corresponding to Gangsters among its officers
- (7) When the person seeking accommodation has committed an act (speech and conduct) that significantly inconveniences another guest
- (8) When the person seeking accommodation is a patient with specified infectious diseases pursuant to the provisions of Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter “Patient with Specified Infectious Diseases”)
- (9) When the person seeking accommodation is an unaccompanied minor without written consent from their guardian
- (10) When the Hotel determines that the purpose of the accommodation application is transferring the accommodation right to someone else
- (11) When a violent demand is made or a burden exceeding the reasonable range is demanded in relation to accommodation
(Excluding cases where the person seeking accommodation requests the elimination of a social barrier pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013; hereinafter “Act for Eliminating Discrimination against the Disabled”))
- (12) When the person seeking accommodation repeatedly makes demands that place an excessive burden on the Hotel or an employee of the Hotel and may significantly obstruct the provision of accommodation-related services to other guests as stipulated in Article 5-6 of the Hotel Business Act, or when it is recognized that the person has engaged in similar conduct at a hotel in the Hotel Group in the past
- (13) When it is not possible to provide accommodation due to a natural disaster, facility failure, or other unavoidable reason
- (14) When otherwise applicable to a case in which it is possible to refuse accommodation stipulated by various laws/ordinances or regulations set forth by the municipality where the Hotel is located

Article 5-2 Explanation for Refusal to Conclude an Accommodation Contract

1. If the Hotel does not comply with the conclusion of the accommodation contract based on the preceding article, the person seeking accommodation can request the Hotel to provide an explanation for the reason.

Article 6 Right of the Guest to Cancel the Contract

1. The guest shall reserve the right to cancel the accommodation contract by making a request to the Hotel.
2. In the event the guest cancels part or all of the accommodation contract due to reasons attributable to the said guest's responsibility (excluding when the guest cancels the accommodation contract prior to the payment of a deposit in the event the Hotel has designated a payment due date for such a deposit pursuant to the provisions in Article 3, Paragraph 2 and made a request for the payment of this), the Hotel shall charge a penalty fee pursuant to Appended Table 2. However, in the event the Hotel has complied with a special agreement in Article 4, Paragraph 1, the obligation to pay the penalty fee when the guest cancels the accommodation contract shall be limited to when the Hotel makes a notification to the guest upon complying with the said special agreement.
3. When the guest does not arrive by 9 p.m. on the day of the accommodation date without making contact (this shall be the time two hours after the expected arrival time in the event such a time has been specified), the Hotel may treat this accommodation contract as though it has been canceled by the guest.

Article 7 Right of The Hotel to Cancel the Contract

1. The Hotel may cancel the accommodation contract in the following cases. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those set forth in Article 5 of the Hotel Business Act.
 - (1) When it is deemed that the guest may commit, or has committed, an act in violation of provisions in laws/ordinances, public order, or good manners in relation to accommodation
 - (2) When it is deemed that the guest corresponds to one of the following from (a) to (c)
 - (a) An Organized Crime Group, a Gangster, an associate member of an Organized Crime Group, a person related to an Organized Crime Group, or another antisocial force
 - (b) A corporation or other group for which business activities are controlled by an Organized Crime Group or Gangster

- (c) A corporation that has people corresponding to Gangsters among its officers
 - (3) When the guest has committed an act (speech and conduct) that significantly inconveniences another guest
 - (4) When the guest is a Patient with Specified Infectious Diseases
 - (5) When an act of violent demand is made or a burden exceeding the reasonable range is demanded in relation to accommodation, or when it has been established that the guest has committed a similar act at a hotel in the Hotel Group in the past (Excluding cases where the guest requests the elimination of a social barrier pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act for Eliminating Discrimination against the Disabled.)
 - (6) When the guest repeatedly makes demands that place an excessive burden on the Hotel or an employee of the Hotel and may significantly obstruct the provision of accommodation-related services to other guests as stipulated in Article 5-6 of the Hotel Business Act
 - (7) When the person seeking accommodation has committed an act (speech and conduct) that significantly inconveniences another guest because they are heavily drunk, etc.
 - (8) When it is not possible to provide accommodation for reasons attributable to a force majeure (e.g. natural disaster)
 - (9) When otherwise applicable to a case in which it is possible to refuse accommodation stipulated by various laws/ordinances or regulations set forth by the municipality where the Hotel is located
 - (10) When the guest has smoked a cigarette in bed in the bedroom, when the guest has tampered with firefighting equipment or similar, or when the guest has not obeyed the prohibitions in the rules of use set forth by the Hotel (limited to those necessary for the prevention of fires)
2. When the Hotel cancels the accommodation contract under the provisions in the preceding paragraph, the Hotel shall not take any fees for accommodation services and similar that have not yet been provided to the guest.

Article 7-2 Explanation for Cancellation of Accommodation Contract

1. If the Hotel cancels the accommodation contract based on the preceding article, the guest can request the Hotel to provide an explanation for the reason.

Article 8 Registration of Accommodation

1. The guest shall be required to register the following matters at the reception of the Hotel on the day of the accommodation date.

- (1) Name, address, and contact information of the guest(s)
 - (2) Nationality and passport number for foreigners who do not have an address in Japan (we will take a copy of the passport for confirmation)
 - (3) Other matters deemed necessary by the Hotel
2. If the guest attempts to pay the fees in Article 12 using means in place of currency, such as a hotel voucher or a credit card, they shall present it at the time of the registration in the preceding paragraph.

Article 9 Guest Room Usage Time

1. Please refer to the guest directory for the time during which guests can use the guest rooms of the Hotel. However, in the event of a continuous stay, it shall be possible to use the guest rooms for the whole day excluding the date of arrival and date of departure.
2. Notwithstanding the provisions in the preceding paragraph, the Hotel may allow the use of guest rooms outside of the times stipulated in the preceding paragraph. In this case, the Hotel shall charge additional fees (please check the fees at the reception.) However, we may not be able to accept the use of guest rooms outside of the specified time due to full occupancy, etc.

Article 10 Compliance with the Rules of Use

1. The guest shall follow the rules of use established by the Hotel and posted in the Hotel.

Article 11 Opening Hours

1. The details of the opening hours of the facilities of the Hotel shall be given with brochures, notices in various locations, and information in guest rooms.
2. The opening hours in the preceding paragraph may change on occasion if unavoidable. In that case, the Hotel shall inform guests of this through an appropriate method.

Article 12 Payment of Fees

1. The breakdown of the accommodation fees that shall be paid by the guest shall be as set forth in Appended Table 1.
2. The payment of the accommodation fees in the preceding paragraph shall be made at the reception when billed by the Hotel in Japanese currency or according to an alternative method approved by the Hotel (e.g. a hotel voucher or credit card).
3. The guest shall pay the accommodation fees even in the event the Hotel provides a guest room to the guest and the guest chooses not to stay in it after it becomes possible to use it.

Article 13 Responsibilities of The Hotel

1. When the Hotel disadvantages the guest in the fulfillment of the accommodation contract and any contracts related to this or through the failure to fulfill these contracts, the Hotel shall provide compensation for those damages. However, this shall not apply when this is due to a reason that cannot be attributed to the responsibility of the Hotel.
2. The Hotel has hotel liability insurance to deal with fires or similar.

Article 14 Handling When It Is Not Possible to Provide a Contracted Guest Room

1. When the Hotel is not able to provide a guest room contracted by a guest, the Hotel shall arrange for the guest to stay in another accommodation facility with as similar conditions as possible after obtaining the consent of the guest.
2. Notwithstanding the provisions in the preceding paragraph, when it is not possible to arrange for the guest to stay in another accommodation facility, the Hotel shall pay a compensation equivalent to the penalty fee to the guest; this shall serve as the compensation for the amount of damages incurred by the guest. However, the Hotel shall not pay this compensation when it is not able to provide a guest room due to a reason that cannot be attributed to the responsibility of the Hotel.

Article 15 Handling of Deposited Items

1. When goods or cash and valuables deposited at reception by the guest are damaged or destroyed, the Hotel shall provide compensation for these damages except when this is due to force majeure. However, in the event the Hotel requests a declaration of the type and value of the cash and

valuables and the guest does not do this, the Hotel shall provide compensation for these damages with a limit of 100,000 yen.

2. When goods or cash and valuables brought into the Hotel by the guest that are not deposited at the reception are damaged or destroyed due to the bad faith or negligence of the Hotel, the Hotel shall provide compensation for these damages. However, the Hotel shall provide compensation for these damages with a limit of 100,000 yen for items for which the guest has not made a declaration about the type and value in advance except in the event of bad faith or serious negligence by the Hotel.

Article 16 Storage of the Luggage or Personal Effects of Guests

1. In the event the luggage of a guest arrives at the Hotel in advance of the guest's stay, the Hotel shall store it responsibly only when the Hotel has consented to do so in advance of its arrival and then pass it over when the guest checks in at the reception.
2. In the event the luggage or personal effects of a guest are left behind in the Hotel after the guest checks out, its possession shall be considered to be transferred to the Hotel, and the Hotel shall wait for contact from the owner in principle and then request instructions about what to do. However, if no instructions are given within a month, the Hotel shall dispose of them. However, the Hotel shall dispose of foods/drinks, tobacco, magazines, items that may compromise hygiene, and other waste matter (items that are clearly broken) on the same day.
3. The responsibility of the Hotel for the storage of the luggage or personal effects of guests in the cases in the preceding two paragraphs shall conform to the provisions in Paragraph 1 of the preceding article for the case in Paragraph 1 and to the provisions in Paragraph 2 of the preceding article for the case in Paragraph 2.
4. Notwithstanding the preceding three paragraphs, in the event there are no instructions from the owner regarding valuables, the Hotel shall store them as lost items for up to seven days (including the date of discovery) and then report this to the nearest police station afterward.
5. The Hotel shall inspect the contents of luggage or personal effects left behind at its discretion to handle them properly according to the nature of the contents, and then return them to their owner or handle them according to the preceding paragraph, as appropriate, and the guest shall make no objections against this.

Article 17 Responsibility for Parking

1. In the event the guest uses the parking lot of the Hotel, regardless of accepting the deposit of the keys to the vehicle, the Hotel shall lend the guest a place and shall not assume responsibility for the

management of the vehicle. However, if this vehicle is damaged due to the bad faith or negligence of the Hotel when managing the parking lot, the Hotel shall assume responsibility for the compensation for that.

Article 18 Responsibility of the Guest

1. When the Hotel suffers damages due to the bad faith or negligence of the guest, the said guest shall provide compensations for those damages to the Hotel.
2. Since all areas in the Hotel are non-smoking, except for designated smoking areas (including smoking guest rooms), if a guest smokes in a guest room or facility in areas that are not designated for smoking, the said guest shall compensate the Hotel for the guest room cleaning fees and the damages due to putting the sales of the guest room on hold.

Article 19 Disclaimers

1. When the guest uses computer (e.g. electronic equipment) communications within the Hotel, the guest shall do so at their own responsibility. The Hotel shall accept absolutely no responsibility for any damages the user suffers as a result of a system failure while using computer communications.
2. In the event damages are incurred, or are expected to be incurred, by the Hotel or a third party as a result of an act that the Hotel deems inappropriate when using computer communications, the Hotel shall charge an equivalent amount in damages.

Article 20 Supported Languages

1. This agreement is available in Japanese, English, Chinese, and Korean, but if there are inconsistencies or discrepancies between each version of the agreement, the Japanese version shall prevail in all respects.

Article 21 Revision of the Accommodation Agreement

1. This accommodation agreement can be revised as necessary at any time. If this accommodation agreement is revised, the Hotel shall post the details and effective date of the revised agreement on the Hotel's website or inside the Hotel.

Appended Table 1: Breakdown of Accommodation Fees
(Related to Article 2, Paragraph 1 and Article 12, Paragraph 1)

Total Amount That Shall Be Paid by the Guest

Accommodation fee	- Basic accommodation fee (room fee (or room fee + charges for food/drinks such as breakfast)) * Service charge
Additional fees	- Additional food/drink charges or any other usage fees
Taxes	- Various taxes stipulated by laws/ordinances (e.g. accommodation tax and consumption tax)

Notes The basic accommodation fee shall be the fee presented at the reception (or at the time of concluding the accommodation contract).

*The service charge shall apply to Nishitetsu Grand Hotel and Solaria Nishitetsu Hotel Fukuoka.

Appended Table 2: Penalty Fees (Related to Article 6, Paragraph 2)

Date of Receiving Notice for Contract Cancellation		No-Show	Date of Stay	Day Before	2-9 Days in Advance	10-20 Days in Advance
Individual	Up to 14 rooms	100%	80%	20%	-	-
	15-99 rooms	100%	80%	20%	10%	-
Group	100 rooms or more	100%	100%	80%	20%	10%

Notes:

1. The % is the ratio of the penalty fee in regards to the basic accommodation fee (including consumption tax, etc.).
2. In the event the number of contract days is shortened, the penalty fee for one day (the first day) shall be collected regardless of how many days the contract is shortened.
3. In the event a contract for some of the Group (15 guests or more) is canceled, there shall be no penalty fee for the number of people equivalent to 10% of the number of guests (rounded up in the event of a fraction) ten days in advance of arrival (in the event a request is received later than that day, this shall be the date on which this request was received).
4. In addition, there may be cases where cancellation fees different from those set forth in the aforementioned regulations are specified for special plans sold by partner businesses or the Hotel, or for specific groups.